

# 学校図書館支援センターだより



新居浜市教育委員会学校教育課  
新居浜市一宮町一丁目5番1号  
TEL (0897)65-1301

## 新居浜市「子どもの読書アンケート調査」結果の報告と考察

令和元年6月に小学2年・5年、中学2年の児童・生徒に実施した読書に関するアンケート調査結果及び、全国学力・学習状況調査児童・生徒質問紙回答結果を、新居浜市子ども読書活動推進計画に照らし合わせ考察したものです。

新居浜市としては、読書は、子どもの成長にとって欠かせない大切な営みであり、「言葉の力」を育てる上でも大きな支えになるという考えのもと、児童・生徒の読書習慣の確立に向け、2016年度から2020年度までのおおむね5年間で以下の項目を達成することを目標に掲げています。

本調査結果を各校で考察していただき、今後の実践につなげていただきたいと思います。

### 1 本を読まない子ども0を目指します ～1か月間の読書冊数が0冊の子どもの割合～

目標  
**0%**

読書冊数が0冊の子どもの割合	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年
小学2年生	2.5%	4.9%	3.8%	2.0%	2.2%
小学5年生	1.9%	3.7%	3.6%	7.2%	1.2%
中学2年生	2.2%	5.0%	3.7%	2.7%	6.9%

全国学力・学習状況調査の教科に関する調査結果と質問紙調査結果のクロス集計から、少しでも読書習慣が定着している子どもの方が、定着していない子どもよりも正答率が高い傾向にあるという結果が出ています。  
読書習慣を確立させることは、学力を保障する上でも大切な役割を果たすこととなります。

小学2年生は、5年間連続して目標を達成していますが、小学5年生と中学2年生は、読書量に課題が継続していることが分かります。  
詳しく見てみると、今年度の5年生は昨年度と比べると向上しています。この5年生が2年生の時の結果は、1か月あたりの平均読書冊数は、21冊と良い結果でした。  
この結果から、低学年の時期に読書習慣をしっかりと確立することが大切だということが分かります。読み聞かせを行ったり、親子で読書する時間を充実させたりすることで、読書する楽しさを味わわせていきたいものです。

### 2 子どもの読書量を増やします ～1か月あたりの平均読書冊数の経年変化～

1か月あたりの平均読書冊数	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	目標
小学2年生	16.0冊	21.0冊	19.3冊	20.6冊	23.8冊	16冊
小学5年生	8.1冊	9.3冊	10.3冊	7.9冊	10.3冊	13冊
中学2年生	4.4冊	3.9冊	3.6冊	4.3冊	3.0冊	7冊

### 3 学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日あたりの読書時間を増やします ～1日10分以上読書をする子どもの割合～（全国学力・学習状況調査質問紙より）

1日10分以上読書する児童・生徒の割合	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	目標	全国結果
小学6年生	61.1%	65.0%	62.0%	61.3%	68.4%	66%	65.7%
中学3年生	60.7%	55.6%	56.9%	59.9%	58.0%	62%	50.4%

小学6年生は、初めて目標値に到達しました。全国平均も超えています。また、中学2年生は、目標値には到達していませんが、全国平均より上回っています。本とふれ合う時間を生活リズムの中に位置付ける工夫や本との出会いの場を工夫してきた成果だと考えています。今後も、朝の読書の充実や地域ボランティアによる読み聞かせなど、様々な読書活動を継続していくことで、児童・生徒の学力向上につなげていきたいと思ひます。

#### 4 学校図書館を利用する子どもを増やします ～学校図書館を利用する（よく行く・たまに行く）と回答した）子どもの割合～

	平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		令和元年	目標
小学2年生	79.5%	↘	71.3%	↘	68.8%	↘	61.4%	↘	53.6%	90%
小学5年生	69.7%	↘	63.0%	↘	60.4%	↗	62.2%	↘	54.2%	80%
中学2年生	34.8%	↘	23.7%	↗	32.6%	↘	32.1%	↘	25.9%	45%

過去5年間の結果を考察すると、小学2年生の学校図書館利用の減少が大きい傾向にあることが分かりました。また、どの学年も目標値には到達していません。図書館を終日開館するなど利用しやすい環境づくりを行ったり、選書を工夫したりして、子どもたちにとって魅力ある図書館づくりに今後も努めていきたいと思ひます。

#### 担任と学校司書による授業実践を参観してきました

学校司書の研修の一環として、1学期に8名全員が授業研究を実施しました。授業後、担任との役割分担や話し方、板書の構造化、児童理解など、具体的な指導を行い、授業力の向上に努めています。



#### ビブリオバトル～チャンプ本を決めよう～



#### 国語 『気になる記号』



宅配に使われた段ボール箱。その側面にいろいろなマークが印刷されています。（そんなにじっくり見たことがなかった私は、情報の多さにビックリしました。）

子どもたちは、自分が気になる記号について、学校図書館の本を使って、意欲的に調べ、日頃何気なく見ている標識やマークの色や形にも意味があることを学んでいました。

ビブリオバトルとは、「書評合戦」ともいい、おもしろい本に出会うための読書ゲームです。「人を通して本を知る。本を通して人を知る。」をキャッチコピーに日本全国に広がっています。ビブリオバトルのやり方は、都立多摩図書館作成の「やってみよう☆ビブリオバトル」がイラストで説明してくれていてわかりやすいです。子どもたちの生き生きとした表情が、印象的でした。

#### 百科事典の使い方を知ろう

はじめに、紙芝居を見て、百科事典の使い方を学びました。どの子も真剣そのものです。

先生から渡されたなぞカードを解くためには、百科事典（ポプラディア）を使って調べ、書かれていることをじっくり読んで答えます。

なぞカードには、

- ◆ エクレアは、フランス語で何という意味？
  - ◆ けしゴムを発明した人はだれ？
- など、説明を読まないで答えられない問題が書かれていました。

